



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 1 学期終業式号
平成30年 7 月20日発行
<http://mikasa.maizuru.ed.jp/>



心がつながる夏休みに



西日本の広い地域に断続的に降り続いた記録的な豪雨により、多くの地域が水害に見舞われ、河川の氾濫、土砂崩れ、家屋倒壊等の大災害が発生し、幼い命を含む多くの尊い人命が失われました。舞鶴市においても、各地で大きな被害が出ました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞申しあげます。そして、様々な対応にご尽力されている方々に深く敬意を表するとともに、一日も早い復旧をお祈りしております。

明日からは、子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。交通事故、水の事故、不審者、熱中症などの危険から命を守ることに、学校でも指導いたしました。ご家庭、寮におかれましても、かけがえのない命を守ることに、子どもたちと話し合ってくださいますようよろしくお願いいたします。

さて、長い夏休み、いろいろな過ごし方があることでしょう。大人も子どもも、気持ちに少し余裕が生まれるかもしれません。こんな夏休み、家庭や寮で、いつもよりたくさん子どもたちと会話をさせていただきたいと思います。普段会話をしているようでも、「～しなさい。」「～はできたの？」など、一方的な会話であることが案外多いのではないのでしょうか。おすすめは、「大人と子どもと一緒に仕事をする事」です。夏休みと言えば、昔は畳を上げて大掃除をする家が多くありました。子どもも大人も一緒に仕事をする中で、自然と会話が生まれ、子どもは大人から生活の知恵を学び、大人は子どもの成長を実感しました。今はこのような大掃除は見かけなくなりましたが、一緒にご飯を作る、一緒に掃除をするなど、ぜひ一緒に仕事をする機会を作っていただきたいと思います。楽しい会話をいっぱいしながら一緒に仕事をしたことは、子どもたちにとってかけがえのない夏休みの思い出になることでしょう。

後になりましたが、この1学期、保護者の皆様、地域の皆様から温かいご支援・ご協力をお寄せいただきましたこと、本当にありがとうございました。おかげさまで無事1学期を締めくくることができました。心より感謝申しあげます。



校長 小島 みどり
教 職 員 一 同



大変盛り上がりました。

舞鶴かるたは、市内外から公募により寄せられた文章と絵をもとに、公益社団法人舞鶴青年会議所によって作成されたかるたです。舞鶴市内各地の特色や舞鶴のおいしいものなど、舞鶴の魅力がたくさん詰まっています。先日、舞鶴青年会議所の皆さんにご来校いただき、社会科で舞鶴市のことを学ぶ3年生の子どもたちを対象に、舞鶴かるたの出前授業をお話になりました。

「八島、三笠、敷島と軍艦の名の通りあり」
「舞鶴のスパヒーロー」
「舞鶴のチャタマン」等々

舞鶴かるたをきっかけに、舞鶴のことがもっと好きになり、故郷に愛着と誇りを持つてほしいと思います。

舞鶴かるた

